

陸前高田視察・交流プログラム 12 期（2012 年 10 月 13 日～9 月 15 日）報告

松山 真

<日程>

【行き】 13 日東京 716 発・大宮 741 発 「はやて 101 号」 一ノ関 932 着

【帰り】 16 日サポートハウス 6 時発、一ノ関駅 755 発「はやて 104 号」

<参加者>

- ・ 福祉学科 3 年生（9 期と 2 回目）
- ・ 福祉学科 3 年生（9 期と 2 回目）
- ・ 福祉学科 2 年生 初参加（Three-S）
- ・ 福祉学科 1 年生 初参加（Three-S）

<プログラム内容>

13 日	1100~1330	「ミュー」（9 期にお風呂で知り合った方の店）訪問。被災の様子や、知り合いや近所の人たちの被災状況、避難所で生活のこと、復興計画についてなど、話して下さった。
	1400~1440	昼食、ZERO バスで利用できるか下見も兼ねて外食
	1500	サポートハウスに荷物を置き、風呂の用意をしてすぐに出掛ける
	152~2100	鮮魚シタボ：津波で流された洗魚台の脚組や机などが海に流されず残っていて、丁度届けられたばかりだったので、皆でタウンなどでドロを落としたり掃除し使えるようにした。仮設の作業所に設置。お礼にと、夕食を準備して下さり隣の作業所で食べる。その間に、「避難所では蝋燭 1 本で、電気も水道もなく生活した。でも人間暗闇でも見えるようになる」と電気を消してみた。「雑魚寝で寒かったが、みんなで持っている物分け合って生き延びた。山から水を汲んで来て、火をおこして、冷蔵庫が使えないから食材をどんどん食べた。これが東京だったら生きられないんじゃないか。どっちが本当に豊かな生活か考えてみる。」など話して下さる。
		サポートハウスで順番に風呂に入り、振り返りミーティング後、就寝
14 日	930-1300	高田地区視察：陸前高田駅跡から駅前通りを歩き、マイヤ・市役所・市民センターなどを見て歩く。総合体育館・消防署・警察・図書館・陸前高田高校などは解体が始まりフェンスが張り巡らされ入れない。総合体育館は車から降りて裏側からみる。雇用促進住宅は 2 棟とも 5 階まで上がる。
	1300	喫茶店「クローバー」にて昼食（アップルロード途中）
	1400	モビリア仮設訪問：T 氏・S 氏にあいさつ。照井氏は天気が良いのに全く外に出ていないということで、散歩に誘い、みんなで展望台からモビリア内を一周する。途中吉田富男氏に会い、同じような境遇なので紹介する。今後付き合えるようにしたい。学生は吉田富男さん宅に呼ばれ、16 時から 18 時まで交流。松山は夕食の買い物（シタボなど）
	1800~	全員で夕食の準備。（鯨の唐揚げ、秋刀魚一夜干し、秋刀魚のすり身汁など）
	1900~	吉田富男夫妻をサポートハウスにお招きし一緒に食事。
	2100~	スーパー銭湯に行き、星を観る
	2230~	振り返りミーティング
	000	就寝
	530	吉田富男氏見送りに来られる。起床
	620	サポートハウス出発
	755	一ノ関駅発（2 限授業に間に合うように戻る）

- お店「ミュー」(竹駒)では、予告しておいたこともあり、2時間以上震災当時の話を学生にして下さった。昼食も忘れて話して下さい、その後の視察の予定を取りやめ、ずっと話を聴く。
- シタボに何うと、大型の鮮魚台などが届いた所ということで、タワシなどで津波のドロを落とす作業を頼まれる。引き出しの中などもきれいに掃除する。お礼にと夕食を準備して下さい。食べながら3.11以降の避難所での生活の様子を色々話して下さい。食材は旅館などから出して貰い、電気が無い中寒さを凌ぎながら助け合って生きてきたことなど、電気を消した真っ暗にしてみたりしながら、学生に教えてくれる。しかし、恐らくわたしたちの到着に合わせて仕事を作ってくれたように思う。
- 視察については、ZERO バスツアーの下見も兼ねて行く。陸前高田駅前から駅前通りからマイヤ、市役所前まで津波前の写真と iPad で地図を表示して見ながら歩く。時間を計り ZERO バスの予定を考える。
- 昼食はサポートハウスに戻る時間も無いため、外食するが、ZERO バスで利用できそうな店を選ぶ
- モビリア仮設での個人訪問でも、仮設に入ったことの無い学生もいたため、仮設での交流を優先させ、学生は夕食作りに戻らず交流を続けて貰う。
- 照井氏では、家に上がるように言われるが、天気も良いのに部屋に閉じこもっているため、散歩に誘い、展望台から畑を回り、東集会所から下に降りたところで吉田氏に会う。一つ違いで生まれた地区も同じ、元大工の出稼ぎを長くしていたなど共通点も多いため、二人を合わせ紹介する。一人暮らしの Ter 氏の友だちになってもらえたと願う。
- 吉田富男氏夫妻を夕食にサポートハウスに招き共に話しながら食べる。
- 帰りが早朝であったが、振り返りミーティングは名残惜しみ 12 時近くまで話し込む。
- ZERO バスツアーでのスケジュールについて検討もできた。
- ZERO バスツアーで、20 人程度が生活できるかどうか、特に布団等の確認なども行った。

以上



震災前の陸前高田駅前通り 奥が駅



震災後の同じ場所



シタボさんの仮設店舗の作業台掃除



シタボさん店舗で豪華な夕食



秋刀魚の一夜干し・鯔の唐揚げ・秋刀魚すり身汁など



富男さん夫妻を迎えて交流